

大齋節第5主日特禱

いつくしみ深い神よ、あなたは御子イエス・キリストの死と復活によって、この世界を解放し救ってくださいました。十字架の上に苦しまれた御子への信仰によって、私たちも主の勝利の力にあずかることができますように。父とともにおられ、聖霊の交わりのうちに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる御子、私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 エゼキエル書 37章1－14節

37:1 主の手が私に臨んだ。主はその霊によって私を連れ出し、平野のただ中に私を置いた。そこには骨が満ちていた。2 主は私にその周囲を歩き巡らせた。すると、その平野にはおびただしい骨があり、それは枯れ果てていた。3 主は私に言われた。「人の子よ、この骨は生き返ることができるか。」私は言った。「主なる神よ、あなたはご存じです。」4 主は私に言われた。「これらの骨に向かって預言し、彼らに言いなさい。枯れた骨よ、主の言葉を聞け。5 主なる神はこれらの骨にこう言われる。今、私はあなたがたの中に霊を吹き込む。するとあなたがたは生き返る。6 私はあなたがたの上に筋を付け、肉を生じさせ、皮膚で覆い、その中に霊を与える。するとあなたがたは生き返る。こうして、あなたがたは私が主であることを知るようになる。」7 私は命じられたように預言した。私が預言していると、音がした。地響きがし、骨と骨とが近づいた。8 私が見ていると、それらの上に筋ができ、肉が生じ、皮膚がその上を覆ったが、その中に霊はなかった。9 主は私に言われた。「霊に預言せよ。人の子よ、預言して霊に言え。主なる神はこう言われる。霊よ、四方から吹いて来い。これら殺された者の中に吹きつけよ。すると彼らは生き返る。」10 私が主が命じられたように預言すると、霊が彼らの中に入った。すると彼らは生き返り、自分の足で立ち、おびただしい大軍となった。11 主は私に言われた。「人の子よ、これらの骨はイスラエルの家のすべてである。彼らは、『我々の骨は枯れ、我々の望みはうせ、我々は滅びる』と言っている。12 それゆえ、預言して彼らに言いなさい。主なる神はこう言われる。私の民よ、私はあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げ、イスラエルの地に導き入れる。13 私の民よ、私があなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げるとき、あなたがたは私が主であることを知るようになる。14 私があなたがたの中に霊を与えると、あなたがたは生き返る。私はあなたがたを自分の土地に安住させる。その時、あなたがたは主である私がこれを語り、行ったことを知るようになる——主の仰せ。」

詩編 第130篇

- 1 主よ、深い淵の底からあなたに叫びます || わが主よ、私の声を聞いてください。嘆き祈る声に耳を傾けてください
- 2 主よ、あなたが過ちに目を留めるなら || わが主よ、誰が耐えられましょう
- 3 しかし、赦しはあなたのもとにあります || あなたが恐れられるために

- 4 私は主を望みます。私の魂は望みます || 主の言葉を待ち望みます
- 5 私の魂はわが主を待ち望みます || 夜回りが朝を、夜回りが朝を待つにも増して
- 6 イスラエルよ、主を待ち望め || 主のもとに慈しみがあり、そのもとに豊かな贖いがある
- 7 この方こそ、イスラエルを || すべての過ちから贖ってくださる

使徒書 ローマの信徒への手紙 8章6—11節

8:6 肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和です。7 なぜなら、肉の思いは神に敵対し、神の律法に従わないからです。従いえないのです。8 肉の内にある者は、神に喜ばれることができません。9 しかし、神の霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉の内ではなく、霊の内にあります。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。10 キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、霊は義によって命となっています。11 イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬべき体をも生かしてくださるでしょう。

福音書 ヨハネによる福音書 11章1—45節

11:1 ある病人がいた。マリアとその姉妹マルタの村、ベタニアの出身で、ラザロと言った。2 このマリアは主に香油を塗り、髪の毛で主の足を拭った女である。その兄弟ラザロが病気であった。3 姉妹たちはイエスのもとに人をやって、「主よ、あなたの愛しておられる者が病気なのです」と言わせた。4 イエスは、それを聞いて言われた。「この病気は死で終わるものではない。神の栄光のためである。神の子がそれによって栄光を受けるのである。」5 イエスは、マルタとその姉妹とラザロを愛しておられた。6 ラザロが病気だと聞いてから、なお二日間同じ所に滞在された。7 それから、弟子たちに言われた。「もう一度、ユダヤに行こう。」8 弟子たちは言った。「先生、ユダヤ人たちがついこの間もあなたを石で打ち殺そうとしたのに、またそこへ行かれるのですか。」9 イエスはお答えになった。「昼間は十二時間あるではないか。昼のうちに歩けば、つまづくことはない。この世の光を見ているからだ。10 しかし、夜歩けば、つまづく。その人の内に光がないからである。」11 こうお話しになり、また、その後で言われた。「私たちの友ラザロが眠っている。しかし、私は彼を起こしに行く。」12 弟子たちは、「主よ、眠っているのであれば、助かるでしょう」と言った。13 イエスはラザロの死について話されたのだが、弟子たちは、ただ眠りについて話されたものと思ったのである。14 そこでイエスは、はっきりと言われた。「ラザロは死んだのだ。15 私がその場に居合わせなかったのは、あなたがたにとってよかった。あなたがたが信じるようになるためである。さあ、彼のところへ行こう。」16 すると、ディディモと呼ばれるトマスが、仲間の弟子たちに、「私たちも行って、一緒に死のうではないか」と言った。

17 さて、イエスが行って御覧になると、ラザロは墓に葬られてすでに四日もたってい

た。18 ベタニアはエルサレムに近く、十五スタディオンほどのところにあった。19 大勢のユダヤ人が、兄弟ラザロのことでマルタとマリアを慰めようとして来ていた。20 マルタは、イエスが来られたと聞いて、迎えに行ったが、マリアは家で座っていた。21 マルタはイエスに言った。「主よ、もしここにいてくださいましたら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。22 しかし、あなたが神にお願いすることは何でも、神はかなえてくださると、私は今でも承知しています。」23 イエスが、「あなたの兄弟は復活する」と言われると、24 マルタは、「終わりの日の復活の時に復活することは存じています」と言った。25 イエスは言われた。「私は復活であり、命である。私を信じる者は、死んでも生きる。26 生きていて私を信じる者は誰も、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」27 マルタは言った。「はい、主よ、あなたが世に来られるはずの神の子、メシアであると私は信じています。」

28 マルタは、こう言ってから、家に帰って姉妹のマリアを呼び、「先生がいらして、あなたをお呼びです」と耳打ちした。29 マリアはこれを聞くと、すぐに立ち上がり、イエスのもとに行った。30 イエスはまだ村には入らず、マルタが出迎えた場所におられた。31 家でマリアと一緒にいて、慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がって出て行くのを見て、墓に行って泣くのだろうと思い、後を追った。32 マリアはイエスのおられる所に来て、イエスを見るなり足元にひれ伏して、「主よ、もしここにいてくださいましたら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに」と言った。33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、憤りを覚え、心を騒がせて、34 言われた。「どこに葬ったのか。」彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。35 イエスは涙を流された。36 ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。37 しかし、「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようにはできなかったのか」と言う者もいた。

38 イエスは、再び憤りを覚えて、墓に来られた。墓は洞穴で、石で塞がれていた。39 イエスが、「その石を取りのけなさい」と言われると、死んだラザロの姉妹マルタが、「主よ、もう臭います。四日もたっていますから」と言った。40 イエスは、「もし信じるなら、神の栄光を見ると言ったではないか」と言われた。41 人々が石を取りのけると、イエスは目を上げて言われた。「父よ、私の願いを聞き入れてくださって感謝します。42 私の願いをいつも聞いてくださることを、私は知っています。しかし、私がこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたが私をお遣わしになったことを、彼らが信じるようになるためです。」43 こう言ってから、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれた。44 すると、死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出て来た。顔は覆いで包まれていた。イエスは人々に、「ほどいてやって、行かせなさい」と言われた。

45 マリアのところに来て、イエスのなさったことを見たユダヤ人の多くは、イエスを信じた。